KALTIVA

# ２サイクルエンジン耕耘機

## L45

# 取扱説明書

このたびは、弊社「２サイクルエンジン耕耘機　Ｌ４５」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお取扱説明書は大切に保管してください。

目次

【安全上のご注意】・・・・・・・・・・・１～５
【仕様】・・・・・・・・・・・・・・・・・５
【付属品】・・・・・・・・・・・・・・・６
【各部名称】・・・・・・・・・・・・・・７
【組立方法】・・・・・・・・・・・・・・８
●タイヤの取付方法・・・・・・・・・９
●ハンドルの取付方法・・・・・・・・９
【使用前の準備】・・・・・・・・・・・・９
【使用方法】・・・・・・・・・・・・・・９～１１
●燃料の準備・給油・・・・・・・・・９
●エンジンの始動・・・・・・・・・・９～１１
●エンジンの停止・・・・・・・・・・１１
【作業方法】・・・・・・・・・・・・・・１２～１３
【保守と点検】・・・・・・・・・・・・・１４～１７
●エアーフィルターの清掃・・・・・・１４
●点火プラグの清掃・・・・・・・・・１４
●燃料フィルターの清掃・・・・・・・１５
●その他の清掃・・・・・・・・・・・・１５
●ギヤケースのグリス注入・・・・・・１５
●耕刃の交換方法・・・・・・・・・・１６
●保管方法・・・・・・・・・・・・・・１６
●トラブルの原因と対策・・・・・・・１７

この製品は海外ではご使用になれません。
USE ONLY IN JAPAN

# 【安全上のご注意】

◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。

## ●表示と意味

**⚠警告**
使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険・物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。

**⚠注意**
使用を間違った場合に、人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。

※⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。
※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。

| 図記号の例 | | 図記号の意味 |
|---|---|---|
| | 禁　止 | 行為の禁止を示します。 |
| | 強　制 | 行為を強制・指示する内容を示します。 |
| | 注　意 | 注意を促す内容を示します。 |

| ⚠警告 | |
|---|---|
| ・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。 | |
| ・疲れている時や体調の悪い時、酔っぱらっている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。 | |
| ・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検または修理を依頼してください。 | |
| ・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。 | |
| ・燃料は注入口の口元一杯まで入れず、8分目程度にしてください。運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。 | |
| ・燃料は必ず潤滑油混合ガソリン50：1(無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル)を補給してください。軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料・粗悪ガソリン等を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しますと、エンジンを損傷する原因となります。 | |
| ・分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。 | |
| ・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。 | |

| ⚠警告 | |
|---|---|
| ・運転中はもちろん、使用しないときでも本機の上に物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。 | |
| ・機械の点検や修理を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。 | |
| ・使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。 | |
| ・運転中、高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。 | |
| ・エンジンは作業機に搭載した状態で使用するように作られていますので、絶対にエンジン単体で始動させないでください。 | |
| ・運転操作のわからない人、指導を受けていない人、お子様には絶対操作させないでください。 | |
| ・本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。 | |
| ・燃料は非常に引火性が高く、気化した燃料は爆発事故を起こす恐れがあります。燃料補給の際は必ずエンジンを止め、エンジンが冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから補給してください。 | |
| ・整備点検・燃料補給の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。 | |
| ・本機の周りに、可燃性・石油、シンナー、火薬、揮発性の液体、ガス等の燃えやすい物は近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。 | |
| ・作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。 | |
| ・誤って本体を落としたり、ぶつけたりした場合は異常の有無を確認してください。破損や亀裂、変形が無いことをよく確認してください。ケガや火災の原因となります。 | |
| ・点検作業等を行う際は、通行の妨害にならないような場所及び平坦で安全な場所で行ってください。 | |
| ・輸送途中の衝撃等により、製品が破損したり、取付部品が曲がったり外れたりする場合がありますので、ご使用前には必ず確認して、正規の状態でご使用ください。 | |
| ・可燃性・揮発性の液体やガス等の燃えやすいものの近くでは運転しないでください。爆発や火災の原因となります。 | |
| ・本体を車で運搬する場合は、燃料タンクに燃料が入っていない(空の状態)事を確認してください。また、本体が動かないようにしっかり固定してください。火災や事故の原因となります。 | |
| ・本機を始動させる前に、必ず全てのボルト・ナット等が適切に締め付けられているか確認してください。調整用の工具類は使用後すぐに外すようにし、エンジンを始動する前には必ずそれらが外してあることを確認してください。 | |

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| ・作業以外で本機を移動する際は必ずエンジンを停止させてから移動させてください。 | ❗ |
| ・本機をお子様に操作させたり、近寄らせないでください。ケガの原因となります。 | ❗ |
| ・使用方法・作業方法・周囲状況等に十分に注意をして使用してください。軽率な行動は事故やケガの原因となります。 | ❗ |
| ・リコイルスターターを引いてエンジンをかける時、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。 | ❗ |
| ・作業場所には、作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。 | ❗ |
| ・指定された用途以外に使用したり、水中で作業しないでください。 | ⃠ |
| ・本機を無人で放置しないでください。 | ⃠ |
| ・夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や濡れた場所では使用しないでください。足元が不安定で、事故の原因となります。 | ⃠ |
| ・安全に使用するために、耕うん機の能力に合った負荷で使用してください。過負荷で使用すると発熱し、耕うん機の故障や火災等の原因となります。 | ❗ |
| ・使用中、機械の調子が悪かったり、異常音や異常振動等がしたときには直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。 | ❗ |
| ・専用の耕刃を使用してください。専用の耕刃以外の物を使用すると、事故やケガの原因となりますので使用しないでください。少しでも曲がり、歪み、亀裂、折れ、損傷のある耕刃は新品と交換してください。耕刃の取り付け、取り外しの際は、耕刃の先にボロ布(ウエス)等を巻き付け、手袋を着用してください。ケガの原因となります。 | ❗ |
| ・傾斜地で作業を行う場合は、本体の落下や巻き込まれ、転倒による事故の恐れがあります。やむを得ず傾斜地で作業を行う場合は、必ず作業前に本体が安全に使用できるか確認してから、十分注意して作業を行ってください。 | ❗ |
| ・スイッチを「切」にした時、エンジンが完全に停止している事を確認してください。また、本体から離れる時は、スイッチを「切」にしてエンジンを停止させてください。 | ❗ |
| ・作業中は、左右のハンドルをしっかり持ち、正しい姿勢で作業をしてください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒するなど、思わぬ事故の原因となります。 | ❗ |
| ・回転速度をむやみに上げないでください。回転速度を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。回転速度を急に上げると飛散物が飛び散る等、思わぬ事故の原因となります。 | ⃠ |
| ・１５m以内に人や動物を近づけないでください。また、二人以上で作業をする場合も１５m以上離して作業をしてください。飛散物等が当たる、思わぬ事故、ケガの原因となります。 | ⃠ |
| ・十分に安全を確認してからエンジンを始動してください。エンジンを始動すると同時に耕刃（回転部）が回転する場合があります。 | ❗ |

## ⚠警告

| | |
|---|---|
| ・ビニールハウス内など換気の悪い場所では作業を行わないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。 | ❗ |
| ・安全に作業を行うために、エンジンを始動させないで、機械の操作方法を練習してください。 | ❗ |
| ・修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社のお客様相談窓口までご依頼ください。ご自身で修理をすると、事故やケガの原因となります。 | ❗ |
| ・本機を使用しない場合は、燃料を抜き、お子様の手の届かない乾燥した場所または鍵のかかるところに保管してください。 | ❗ |
| ・回転中の耕刃には絶対に触れないでください。ケガなど事故の原因となります。 | ⃠ |
| ・燃料の混合、および給油した場所でエンジンを始動させない、少なくとも３ｍ以上離れた所で始動させてください。 | ⃠ |
| ・次の場合は、エンジンを停止させ先端工具(耕刃等)の回転が止まるのを確認してください。本体が動いたままでは、思わぬ事故の原因となります。<br>●危険を感じた場合、危険が予想される場合<br>●作業場所を移動する場合<br>●本体に巻き付いたゴミや草を取り除く場合<br>●作業場所の障害物を取り除いたり、作業で発生したゴミ・草等を運ぶ場合<br>●耕刃の交換、その他の点検を行う場合<br>●使用しない場合 | ❗ |

## ⚠注意

| | |
|---|---|
| ・本機は空冷２サイクルガソリンエンジンですので、使用燃料は５０：１(無鉛ガソリン：２サイクルエンジン専用オイル)を使用してください。ガソリンのみでエンジンをかけたり、混合比を誤りますとエンジンが故障する原因となります。 | ❗ |
| ・燃料系統の部品に異常が無いかを定期的に点検してください。 | ⚠ |
| ・使用時、燃料は常に新しい物を使用してください。古い燃料を使用していると、運転が不調になる原因となりますので絶対に使用しないでください。 | ⚠ |
| ・リコイルスターターや冷却フィンの周りについたゴミは取り除くようにしてください。また、定期的にエアーフィルターの清掃を行ってください。 | ⚠ |
| ・作業をする前に、その地域の規則や取り決めがあるか確認してください。ある場合は、それに従ってください。 | ⚠ |
| ・運搬、保管の際は、安全のため必ず耕刃をウエスなどで包んでください。 | ⚠ |
| ・作業中は、保護メガネ・イヤーマフ（耳栓）等で身体を防護してください。 | ❗ |
| ・本体は注意深く手入れをしてください。 | ❗ |

| ⚠注意 | |
|---|---|
| ・作業をする場所の石、カン、ビン、コンクリート、針金など、落ちている物を取り除いてください。また、木の根や岩のある場所では作業しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。 | ⚠ |
| ・耕刃は、確実に取り付けられているか、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。異常がある状態で使用するとケガの原因となります。 | ⚠ |
| ・長期間の保管の際は、燃料タンク・キャブレター内の燃料を抜いてください。各部の清掃をきちんと行い、金属部分には薄くオイルを塗ってください。 | ❗ |
| ・一日の作業時間は2時間以内にしてください。疲労は事故の最大の原因です。長時間の連続使用はしないでください。30分作業をしたら、10分以上休息してください。<br>1回の連続使用：30分以内<br>1日の使用時間：2時間以内<br>連続使用日数：3日以内<br>1週の使用日数：5日以内<br>1ヶ月の使用時間：40時間以内 | ❗ |

○騒音防止規制

・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。

※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。

# 【仕様】

| | |
|---|---|
| エンジン形式 | 空冷2サイクルガソリンエンジン |
| 使用燃料 | 潤滑油混合ガソリン<br>無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル　50：1 |
| 排気量 | 52mL |
| 出力 | 1.35kW（1.8PS）/7000min$^{-1}$ |
| 燃料タンク容量 | 800mL |
| 始動方式 | ダンパー付きリコイルスターター |
| 点火プラグ | TORCH：L6RTC（NGK：BPMR6A互換） |
| 耕幅 | 450mm |
| 耕深 | 200mm |
| 刃形 | ナタ爪刃 |
| 爪径 | ∅280mm |
| 耕刃回転数 | 150min$^{-1}$ |
| 耕うん目安面積 | 約30坪 |
| 騒音値 | 約100dB |
| 本体寸法 | W450mm×D1030mm×H900mm |
| 質量 | 約18.0kg |

※仕様・外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

## 【付属品】※大きさは実寸比と異なります。

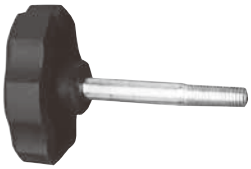
本体×１

タイヤ×１

ロックピン×１

スプリングワッシャー×１

ボルト（M8×70）×１　ナット×１

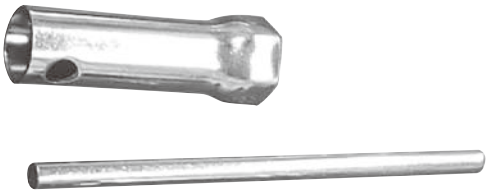


ハンドル固定ノブ×１

結束バンド×２

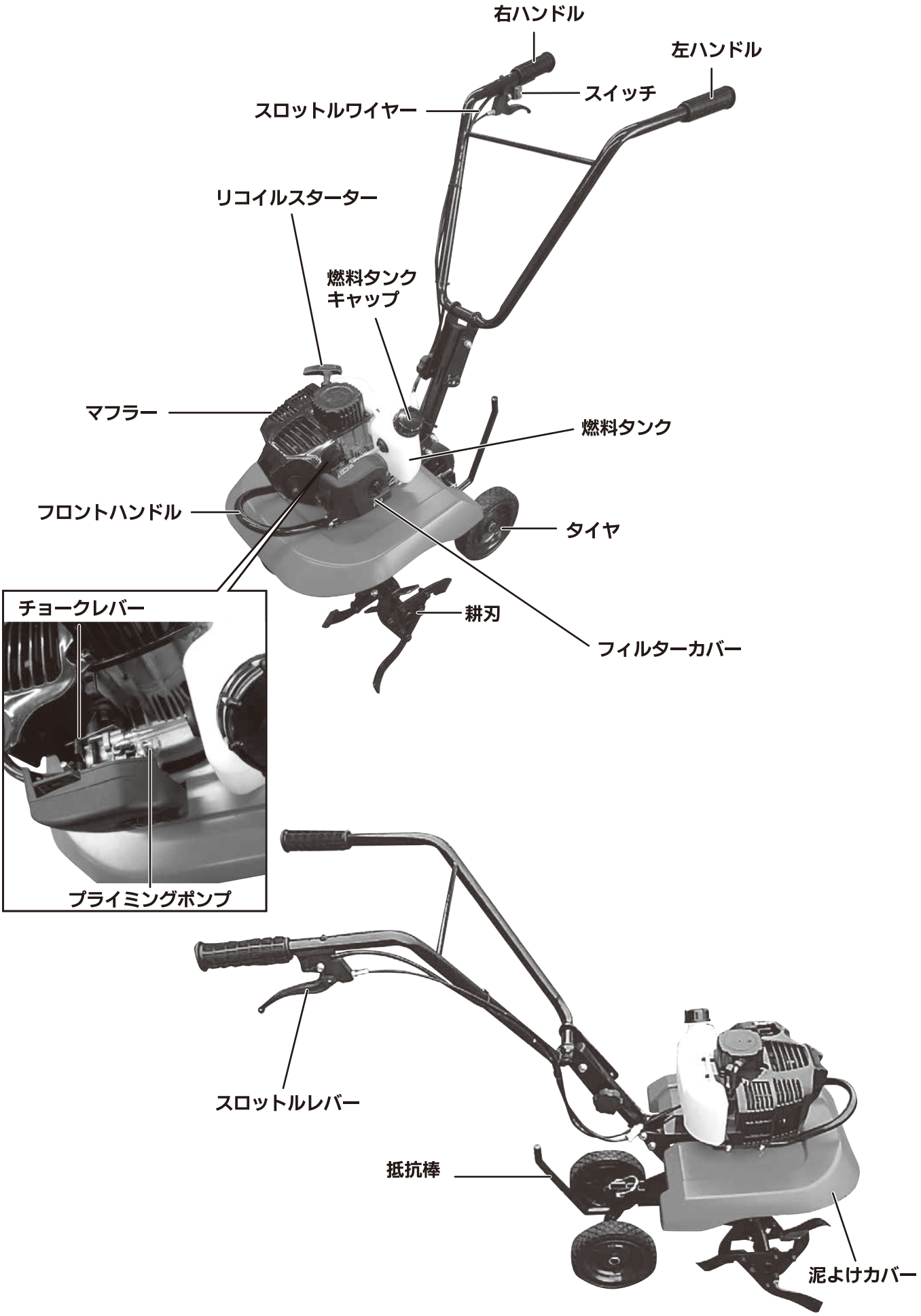
スパナ１０／１２mm×１

スパナ１３／１６mm×１



プラグレンチ×１

## 【各部名称】

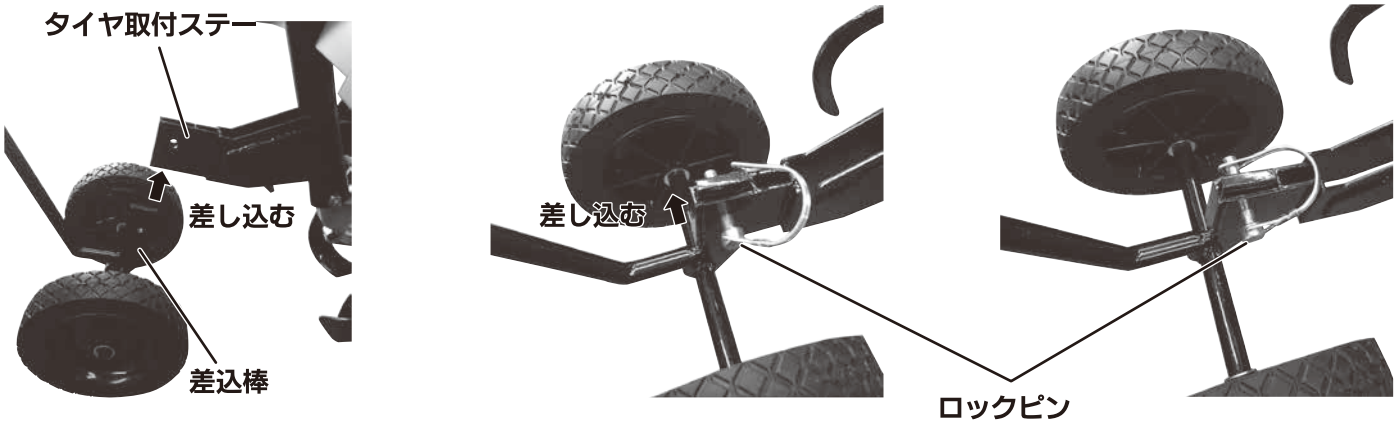

右ハンドル
左ハンドル
スイッチ
スロットルワイヤー
リコイルスターター
燃料タンク
キャップ
マフラー
燃料タンク
フロントハンドル
タイヤ
チョークレバー
耕刃
フィルターカバー
プライミングポンプ
スロットルレバー
抵抗棒
泥よけカバー

# 【組立方法】

## ●タイヤの取付方法

①本体のタイヤ取付ステーにタイヤの差込棒を差し込み、ロックピンを差し込みます。

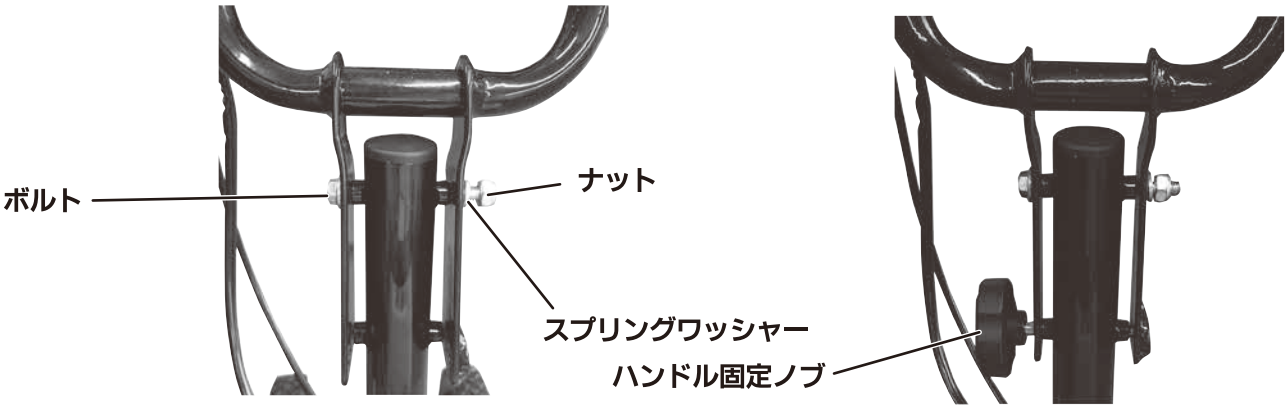
②ロックピンをしっかりと固定します。




## ●ハンドルの取付方法

①ハンドルの取付穴と本体の取付穴を合わせ、ボルトを外側から入れます。内側にスプリングワッシャーを入れ、ナットでしっかりと固定してください。

②ハンドル固定ノブを差し込んでしっかりと固定してください。
※ハンドル固定ノブを差し込む穴は3つあります。お好みの角度に合わせて固定してください。




③コネクターを接続します。
結束バンドでスロットルワイヤーとハンドルを固定してください。（固定箇所は2ヶ所）

# 【使用前の準備】

## ●作業場所の整備

・作業をする場所に障害物(カン・ビン・石・針金・紐など)が落ちていないか確認してから作業をしてください。
また、木の根が這った場所や岩のあるところ、水中では使用しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。

# 【使用方法】

## ●燃料の準備・給油

**⚠警告**

・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
・燃料の混合・給油を行うときは、火気の無い場所で行ってください。タバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。火災・爆発・ヤケドの原因となります。
・本機は空冷2サイクルガソリンエンジンですので、使用燃料は50：1(無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル)を使用してください。ガソリンのみで使用したり、混合比を誤りますとエンジンが故障する原因となります。
・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。肌についたり目に入った場合はただちに流水で充分洗い流し、体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

**⚠注意**

・燃料は、作業に必要な量をその都度準備してください。１ヶ月以上経過した燃料は揮発したり、腐敗してエンジンが故障する原因になります。
・作業終了後、使用しないときは燃料をタンクから抜いてください。故障の原因となります。
・燃料は、燃料タンクの口元いっぱいまで入れないで、8分目位までとしてください。
・燃料はガソリン専用の容器に入れて、火気のない場所で保管または運搬してください。

①燃料タンクキャップを回して外し、市販の2サイクルエンジン専用混合ガソリン（50：1）を給油します。

②給油後は、燃料タンクキャップをしっかりと締めてください。
　※口元一杯まで入れないで、8分目程度にしてください。

## ●エンジンの始動

**⚠警告**

・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。
・疲れている時や体調の悪い時、酔っ払っている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。
・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検又は修理を依頼してください。
・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。
・燃料の混合、および給油した場所でエンジンを始動させない、少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。

**⚠注意**

・エンジンが始動すると同時に耕刃が回転する場合がありますので注意してください。
・エンジンは平らで安定した場所で始動してください。

**エンジンが冷えている場合**

①スイッチを「｜」の位置にしてください。

②燃料が入ってくるまでプライミングポンプを押します。
※10回程度押せば燃料が上がってきます。

③チョークレバーを「閉」の位置にしてください。

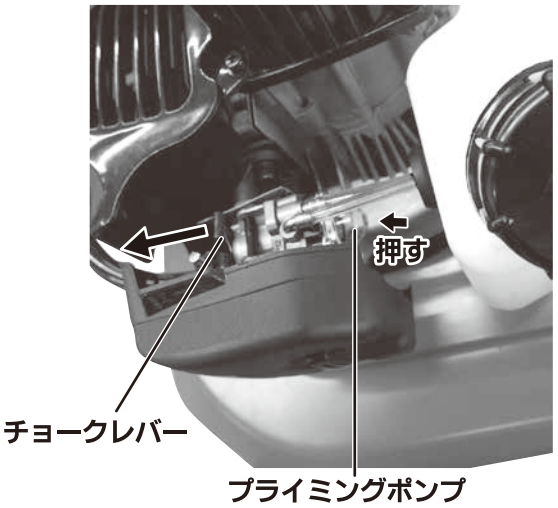
④本体を安定した場所に置き、周囲に障害物がないことを確認します。本体が動かないように本体を押さえながらリコイルスターターをゆっくりと引きます。

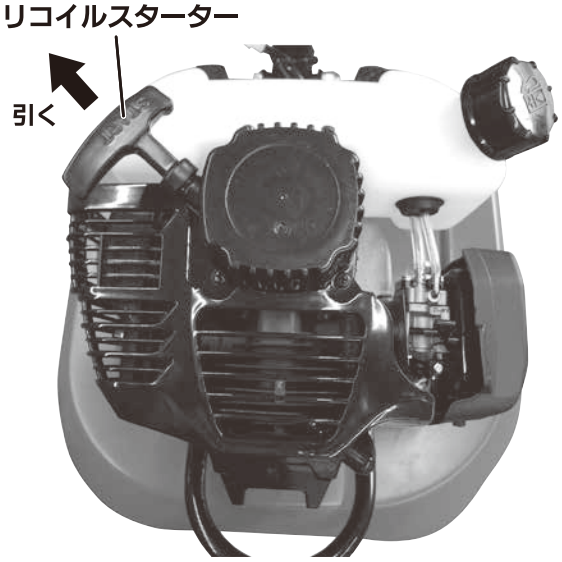
⑤リコイルスターターに抵抗を感じたら、勢いよく引き、それを最初の初爆音がするまで繰り返し行います。

初爆してすぐに止まってしまった場合、⑥→⑧の手順へ

エンジンが始動した場合、⑦→⑧の手順へ

※リコイルスターターを引くときは、必ず後ろに立って引いてください。エンジン始動と同時に耕刃が回転して動き出す場合がありますので注意してください。
※リコイルスターターはロープ引き出し口の方向にならって真っ直ぐ引いてください。
※ロープはいっぱいに引ききらないでください。
※リコイルスターターを引いた後は、手を離さずに静かに戻してください。




**⚠ 注意**

・チョークレバーを「閉」の位置にしたまま、何十回も繰り返しリコイルスターターを引き続けると燃料を吸い込みすぎてエンジンがかかりにくくなります。
燃料を吸い込みすぎた時は、点火プラグを外し、電極を完全に乾かしてから元通り取り付けて始動操作をやり直してください。

⑥チョークレバーを「開」の位置に戻して、再度リコイルスターターを引いて、エンジンを始動させてください。

⑦エンジンが始動したらチョークレバーを「開」の位置に戻してください。

⑧2～3分低速で暖機運転してから作業を始めてください。

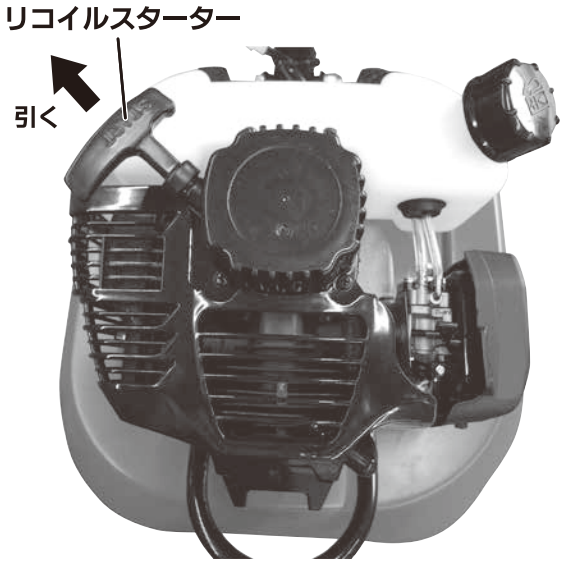
**エンジンが暖まっている場合** ※エンジンが暖まっている場合は、チョークレバーを操作する必要はありません。

①スイッチを「｜」の位置にしてください。

②燃料が入ってくるまでプライミングポンプを押します。
※10回程度押せば燃料が上がってきます。

③本体を安定した場所に置き、周囲に障害物がないことを確認します。本体が動かないように本体を押さえながらリコイルスターターをゆっくりと引きます。

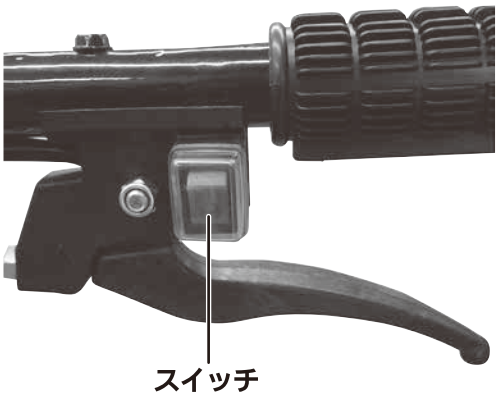
④リコイルスターターに抵抗を感じたら、勢いよく引き、エンジンを始動させます。
※リコイルスターターを引くときは、必ず後ろに立って引いてください。エンジン始動と同時に耕刃が回転して動き出す場合がありますので注意してください。
※リコイルスターターはロープ引き出し口の方向にならって真っ直ぐ引いてください。
※ロープはいっぱいに引ききらないでください。
※リコイルスターターを引いた後は、手を離さずに静かに戻してください。




## ●エンジンの停止

①スロットルレバーを放し、エンジンの回転が低速回転になってからスイッチを「切」の位置にします。

②エンジンが停止します。
※長期間使用しないときは、タンクの燃料を抜き、再度低速でエンジンが自然に止まるまで運転しておいてください。



# 【作業方法】

## ⚠警告

・使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。
・作業をする時は、必ず両手でしっかりハンドルを持ってください。
・15m以内に人や動物を近づけないでください。また、二人以上で作業をする場合も15m以上離して作業をしてください。飛散物等が当たる、思わぬ事故、ケガの原因となります。
・回転速度をむやみに上げないでください。回転速度を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。回転速度を急に上げると飛散物が飛び散る等、思わぬ事故の原因となります。
・耕刃に石や異物が挟まったり、草などが巻き付いて耕刃の回転が止まった時は、必ずエンジンを停止させてから、これらの物を取り除いてください。エンジンが回っている時にこれらの物を取り除くと、不意に耕刃が回りケガの原因になります。

## ⚠注意

・作業をする場所の石、カン、ビン、コンクリート、針金など、落ちている物を取り除いてください。また、木の根や岩のある場所では作業しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。
・耕刃は、確実に取り付けられているか、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。異常がある状態で使用するとケガの原因となります。
・作業時は、土の質や地面のかたさによって回転速度を調整してください。あまり高速回転で作業をすると一箇所を深く掘ってしまいます。
・燃料は少なくなってきたら早めに補給してください。
・時々ハンドル固定用ノブを調べ、緩んでいたら増し締めをしてください。

①作業場所を整備します。（P8「●作業場所の整備」参照）

②燃料を入れます。（P9「●燃料の準備」参照）

③作業をするときは、抵抗棒を下にします。
※タイヤを上にして差し込んでください。

④エンジンを始動します。（P9～P11「●エンジンの始動」参照）

⑤ハンドルを両手でしっかり持ち、スロットルレバーで回転速度を調整しながら、耕うん作業をします。

＜浅く耕したい時＞

・浅く耕す時は、スロットルレバーを運転域まで開き、早めに前進します。
深く掘りすぎて前に進まない場合は、耕刃を回転させた状態でハンドルを少し持ち上げると前進しやすくなります。
土が硬く前に進みすぎてしまう場合は、抵抗棒を下げてください。
※硬い土を耕す時は、不意に本体が跳ね上がることがありますので、様子を見ながら加減をして作業を行ってください。

＜深く耕したい時＞

・深く耕す時は、ハンドルを軽く下に押すようにしてゆっくりと前進させます。
土が軟らかく沈んで前に進まない場合は、抵抗棒を上げてください。

# 【保守と点検】

**⚠警告**

・整備・点検・修理・燃料補給を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
　また、点火プラグからプラグキャップを外してください。
・定期的にマフラーの点検、各部ナット・ネジのゆるみが無いかの確認、燃料漏れの確認をしてください。

## ●エアーフィルターの清掃

・チョークレバーを「閉」側に倒し、キャブレターに塵埃などが入るのを防ぎます。
・エアーフィルターの汚れは定期的に確認してください。
　汚れている場合には、下記の手順で清掃を行ってください。

①フィルターカバーを外し、エアーフィルターを外します。

②エアーフィルターに付着しているゴミやホコリを払ってください。

※エアーフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアーフィルターはきれいにしておいてください。
※清掃してもエアーフィルターの汚れがひどい場合、または傷みがある場合には、新しい物と交換してください。

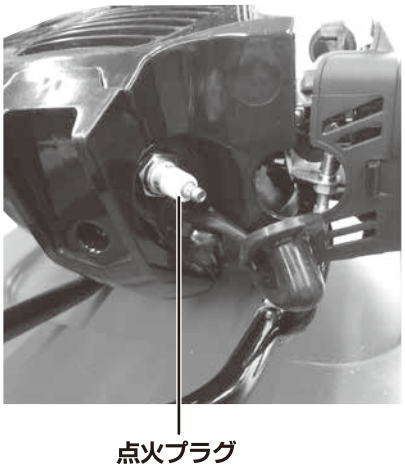
③清掃が終わったら取り外したときと逆の手順で取り付けます。

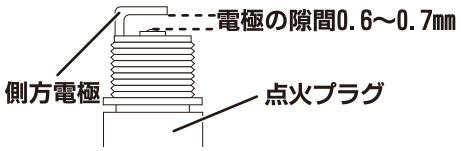
## ●点火プラグの清掃

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチで点火プラグを外します。

②電極が汚れている場合には、プラグ用クリーナー・ワイヤーブラシ等でカーボンを落とすか点火プラグを交換してください。
※電極の隙間が大きい場合には、側方電極を曲げて、隙間の調整を行ってください。

| | |
|---|---|
| 標準プラグ | TORCH　L6RTC（NGK　BPMR6A互換） |



## ●燃料フィルターの清掃

**⚠警告**

・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。また、燃料フィルターを取り出す際もご注意ください。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。肌についたり目に入った場合はただちに流水で充分に洗い流し、体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。
・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

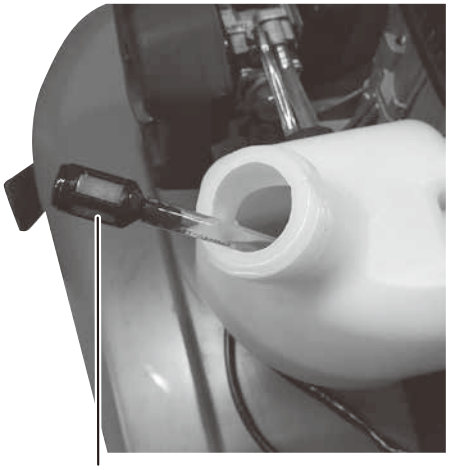
・燃料フィルターが詰まると、燃料が上がらず、エンジンの回転不調の原因となります。定期的に確認してください。

①燃料タンクキャップを外し、燃料を抜きます。燃料タンクを空にします。燃料タンク内に異物が残っていないかを確認し、残っている場合はきれいに抜き取ります。

②針金等を使って燃料フィルターを取り出します。

③燃料フィルターをガソリンでよく洗います。汚れたガソリンは各自治体指定の方法で処理してください。
（汚れのひどいときは交換してください。）

④燃料タンク内に燃料フィルターを入れ、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。

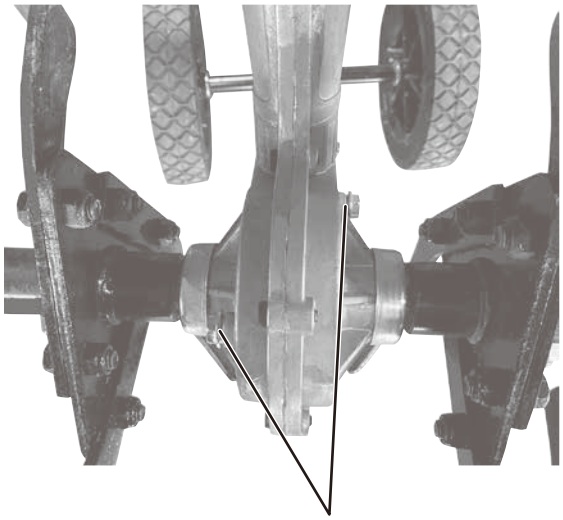

燃料フィルター

## ●その他の清掃

・各部に付いたゴミやホコリはしっかりと拭き取ってください。また、水洗いする場合は、泥よけカバーより上に水がかからないようにしてください。
※耕刃を外してギヤケース部分に直接高圧水をかけないでください。ギヤケースの破損による故障の原因になります。
※水中に浸けての清掃は、絶対にしないでください。ギヤケースが損傷する恐れがあります。

## ●ギヤケースのグリス注入

・ギヤケースには定期的にグリス注入口の両側のボルトを外してグリスガン（市販品）等でグリスを注入してください。
※使用するグリスは、リチウムグリスを使用してください。


グリス注入口

## ●耕刃の交換方法

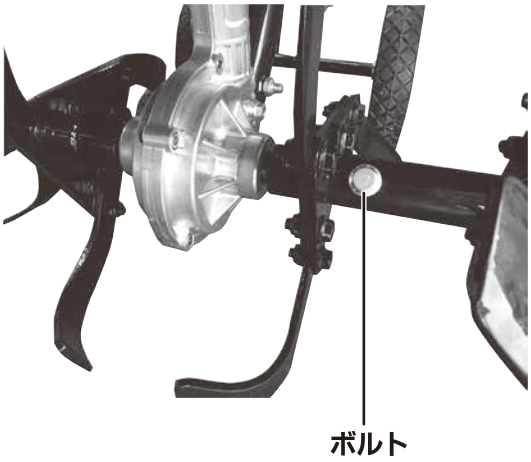
**⚠注意**

・耕刃を交換する際は、必ず手袋を着用してください。ケガの原因となります。
・耕刃を交換する際は、必ずエンジンを停止し、本体が冷えてから行ってください。ヤケド・ケガの原因となります。
・交換後は、確実に取り付けられているか点検をしてください。事故やケガの原因となります。

①ボルトを外し、耕刃を外します。

②新しい耕刃をシャフトに差し込み、取り付けます。
※耕刃にL・Rの刻印がされていますので、右・左を間違えないように確実に取り付けてください。

③ボルトでしっかり固定します。




## ●保管方法

・長期間(30日以上)使用しない場合には、燃料タンク及びキャブレター内の燃料を抜いてください。
※キャブレター内に燃料を残したままにしておきますと、キャブレター内の詰まり、作動不良等の原因となります。
※燃料を抜く際は、容器（市販品）等を用意して、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。

①燃料タンクキャップを外し、針金等を使って燃料フィルターを取り出します。

②燃料が出なくなるまで、プライミングポンプを押します。

③燃料タンクから燃料を抜き、燃料タンクを空にします。

④燃料が抜き終わったら、燃料タンク内に燃料フィルターを戻し、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。

⑤最後にエンジンが自然に停止するまで低速で運転をさせてください。

⑥点火プラグを外し、プラグの穴から少量の2サイクルエンジンオイルを流し込み、リコイルスターターをゆっくり引き、エンジン内にオイルを行きわたらせ、点火プラグをもと通りに取り付けてください。

⑦リコイルスターターをゆっくり引き、圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めてください。

⑧各部についたゴミやホコリをしっかりと拭きとってください。水洗いする場合は、泥よけカバーより上に水がかからないようにしてください。

⑨各部の清掃をきちんと行った後、金属部分には薄くオイルを塗ってください。

⑩安全のため必ず耕刃をウエスなどで包んで保管してください。

⑪エンジンが十分冷えていることを確認してから、ホコリがかからないようにカバーなどをしておいてください。
※耕刃を外してギヤケース部分に直接高圧水をかけないでください。ギヤケースの破損による故障の原因になります。
※水中に浸けての清掃は、絶対にしないでください。ギヤケースが損傷する恐れがあります。
※保管の際はお子様が触れることのできない鍵のかかった場所等に保管し、湿気の高い場所・雨等の水がかかる場所・直射日光のあたる場所は避けて、高温にならない乾燥した場所に保管してください。
※燃料は、屋内の火気の心配のない、冷たい乾燥した場所に安全な容器に入れて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
※本機は、タイヤを下にした状態で保管してください。

## ●トラブルの原因と対策

**⚠注意**
・本機の修理は、必ずお買い求めの販売店へお申し付けください。
・運転中、本機の調子が悪かったり本機に異常を感じたときは、ただちに使用を中止してください。
・取扱説明書の説明以外の分解・修理および改造は絶対に行わないでください。

| 状　　態 | 原　　因 | 対　　策 |
|---|---|---|
| エンジンが始動しない、またはすぐ停止する | 燃料が無い・古い | 新しい燃料を補給する |
| | スイッチが「切」になっている | スイッチを「入」にする |
| | 点火プラグから火花が出ない | 点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする |
| | エアーフィルターが詰まっている | フィルター類を清掃もしくは交換をする |
| | オーバーチョーク（燃料の吸い込み過ぎ） | 点火プラグを外してリコイルスターターを５・６回引き、点火プラグの電極部を乾かしてから点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる |
| | 燃料が回っていない | プライミングポンプを押す |
| | リターンパイプが折れている、または外れている | 燃料が流れやすいようにリターンパイプを調節する |
| | マフラーにカーボンが詰まっている | マフラーの掃除・カーボン除去をする |
| | エンジンが暖まっているのにチョークレバーが「閉」側になっている | チョークレバーを「開」側にする |
| | 暖機不足 | 暖機運転をする |
| | 圧縮が不足している | お買い求めの販売店に相談をする |
| | エンジンが故障している | お買い求めの販売店に相談をする |
| エンジンの出力不足および回転が不安定 | 燃料フィルターの詰まり | 清掃をする |
| | エアーフィルターが詰まっている | フィルター類の清掃もしくは交換をする |
| | 点火プラグの汚れ | 点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする |
| エンジンが停止しない | スイッチ端子の不良・汚れもしくはスイッチリード線の不良 | お買い求めの販売店に相談をする |
| 耕刃が回転しない | 耕刃が正しく装着されていない | 耕刃を確実に取り付ける |
| | 耕刃に異物が引っ掛かっている | 異物を取り除く |
| | 耕刃が破損（割れ・歪み・摩耗）している | 新しい耕刃に交換する |
| 本体が異常に振動する | ハンドル、その他の締め付け部分の緩み | しっかり増し締めをする |
| | 耕刃に異物が引っ掛かっている | 異物を取り除く |

※上記の表は簡単な異常に対しての対策のみを記載しておりますので、わからない点や複雑な異常については、お買い上げいただきました販売店へご相談ください。

# 株式会社 ナカトミ

〒382-0800　長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口　TEL.026-245-3105 FAX.026-248-7101

**受付時間10:00〜12:00　13:00〜17:00（土・日・祝日を除く）**


※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。

2023. 03